

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 368 事業名 生活衛生安全推進事業(衛生害虫等駆除)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		環境衛生費
	大事業		環境衛生事業
事項		生活衛生安全推進事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長(Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、市民の健康環境を保持するため、ねずみ族、害虫駆除を支援する。	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくねずみ族に対し殺そ剤等の市民への配付及び、市が把握しているボウフラの発生しやすい場所への害虫駆除委託業者の薬剤散布などの業務等を通じ市民の健康環境の保持に努める。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		衛生害虫、ねずみ族の駆除業務等 苦情相談件数 387件 現場出務件数 28件 計 415件	衛生害虫、ねずみ族の駆除業務等 苦情相談件数 415件 現場出務件数 28件 計 443件	衛生害虫、ねずみ族の駆除業務等 苦情相談件数 442件 現場出務件数 11件 計 453件		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	3,319	4,207	1,738	1,083	380	351	353			353	
	伸び率(%)	-	-	-47.6%		-78.1%		-7.1%			0.0%	
	人件費	常勤職員	750	1,751	1,751	3,079	3,079	2,940	3,079			3,079
		非常勤職員	428	126	126	0	253	253	253			253
		小計	1,178	1,877	1,877	3,079	3,332	3,193	3,332			3,332
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他	5,120	5,610	0	0	0	0	0	0			0	
一般財源(税等)	-1,801	-1,403	1,738	1,083	380	351	353			353		
所要人数	常勤職員	0.1	0.28	0.28	0.41	0.41	0.39	0.41			0.41	
	非常勤職員	0.1	0.09	0.09	0	0.1	0.1	0.1			0.1	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	現場出務件数				年度目標値				
					実績値	28	28	11	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
成果指標	殺そ剤配付件数				年度目標値				
					実績値	169	163	123	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
	苦情件数(苦情件数に「目標値」を設定する意味はないと考える。)				年度目標値				
				実績値	415	443	453		
単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

A

担当課評価の根拠	ねずみ族や衛生害虫の駆除に関しては、市民からの要望も多い。引き続き、より効果的、効率的な方法を検討しながら対応を行う。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	